

「第2回教会懇談会」 (2022. 3. 20)

まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。

今がその時である。 (ヨハネ4:23)

先週3月13日礼拝後、第2回教会懇談会が開かれた。新年度に向けてヴィジョンを共有する機会として、長老会からの提案、教会員からの意見・発案がなされた。

まず、司会の S. I 長老より、1. 今年度の歩みについて概要が説明された。列举すると、会堂や談話室の整備、礼拝出席者の難聴支援、雪解けを待っての会堂東側整備の工事開始、コロナ禍での伝道工夫 (FM 秋田、チラシ新聞折り込み、ホームページ)、教会教育 (DVD 視聴、映画鑑賞) など。伝道や教育の営みは次年度も継続する。

続いて牧師より、2. 新年度の目標について提示された。「見よ、わたしは新しいことを行う。」とのイザヤ43:19のみ言葉を踏まえ、今後5年間の主題聖句をヨハネ20:27「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」として、いつも主の呼びかけを聞き、主の死と復活の恵みを力にしたい。また、年度目標は「霊と真理をもって礼拝する教会」とし、上掲のヨハネ4:23のみ言葉を年度聖句としたい。

続いて、教会員からの意見・提案が各自からあった。以下に列举すると、

- ① 坂の上に立つ会堂は、上り下りは大変であるが、その存在を広く知らしめている。
- ② 礼拝出席がままならない会員へは、電話一つでも慰めとなる。嬉しいこと。
- ③ 伝道用トラクト、教会案内チラシを置くだけでも可ではないか。旧日新館の例。
- ④ 新来者、求道者が与えられ嬉しい。伝道の祈りが具体的に形になっている。
- ⑤ 祈る教会でありたいし、実際祈る教会になってきたと思う。
- ⑥ 礼拝説教でウクライナ侵攻など、会員の切なる思いに伝えて頂けるのが嬉しい。
- ⑦ 会堂カーペット新調したい。新しい Worship song を一つでも歌いたい。
- ⑧ 教会ホームページを更新し、教会案内の新聞折り込み配布を未地域に広げたい。
- ⑨ 礼拝に出席するだけでなく、役割を持ちたい。アンケートを取ってはどうか。
- ⑩ 会計が満たされて感謝である。建物費出費が多かったが、指定献金が用いられている。
- ⑪ コロナ禍での礼拝が守られたことは感謝。まだ注意は必要である。

主の教会の成長を願い、上記の提案を4月17日の総会に活かします。乞う、祈禱。